

一般社団法人 協力隊を育てる会

第 50 回通常総会

【議案書】

第 1 号議案：2024 年度決算承認の件

【報告書】

- 1) 2024 年度事業報告
- 2) 2025 年度事業計画
- 3) 2025 年度収支予算

2025 年 5 月 29 日（木） 於 連合会館



目 次

【議案書】

第 1 号議案：2024 年度決算承認の件・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P1
監事監査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P7

【報告書】

2024 年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P9
2025 年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P31
2025 年度収支予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P41

注 1：本冊子記載の所属・役職名等は実施当時のものであり、順不同、敬称略にて表記しています。

注 2：本冊子では青年海外協力隊をはじめとする JICA 海外協力隊を【協力隊】、帰国隊員を【OV】とした他、全国育てる会ならびに関係団体の名称を一部省略または俗称にて表記しています。

第 1 号議案：2024 年度決算承認の件
監事監査報告書

決 算 報 告 書 (案)

(第 12 期)

自 2024 年 4 月 1 日
至 2025 年 3 月 31 日

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
基本財産運用益	11,155	219	10,936
基本財産受取利息	11,155	219	10,936
受取入金会金	28,000	57,000	△29,000
受取入金会金	28,000	57,000	△29,000
受取会費	4,915,000	4,960,500	△45,500
正会員受取会費	3,917,200	4,021,000	△103,800
研修会受取会費	997,800	939,500	58,300
事業収益	138,136,034	123,122,329	15,013,705
広告料収入	2,521,200	3,016,200	△495,000
手数料収入	4,340,969	3,539,710	801,259
カレンダー等販売収入	3,471,100	4,365,750	△894,650
帰国隊員等支援受託収入	63,561,488	50,362,506	13,198,982
クロス編集業務受託収入	55,170,938	56,873,510	△1,702,572
GLOBAL SPROUT	100,200	265,900	△165,700
その他受託収入	8,970,139	4,698,753	4,271,386
受取補助金等	3,000,000	3,000,000	0
受取民間助成金	3,000,000	3,000,000	0
受取寄付金	1,952,566	805,899	1,146,667
受取寄付金	1,952,566	805,899	1,146,667
為替差益	534,042	0	534,042
為替差益	534,042	0	534,042
雑収益	54,786	17,276	37,510
受取利息	6,775	96	6,679
雑収益	48,011	17,180	30,831
經常費用計	148,631,583	131,963,223	16,668,360
事業費用	116,315,588	111,937,468	4,378,120
給料手当	41,449,353	40,961,973	487,380
退職共済掛金	717,750	790,500	△72,750
福利厚生費	5,147,134	6,486,635	△1,339,501
旅費交通費	8,154,720	2,684,868	5,469,852
通信費	5,749,593	5,559,467	190,126
会議費	19,240	19,240	0
消耗品費	18,650	18,650	0
修繕費	1,076,458	1,080,547	△4,089
印刷製本費	8,686,708	11,083,954	△2,397,246
仕入高	26,784	15,012	11,772
光熱水料	499,716	246,674	253,042
賃借料	2,633,831	2,625,581	8,250
保険料	256,635	44,070	212,565
諸謝金	1,512,270	2,967,000	△1,454,730
租税公課	21,550	21,550	0
支払負担金	21,540	12,320	9,220
支払助成金	7,985,535	6,224,540	1,760,995
委託費	27,273,840	28,709,870	△1,436,030
雑費	5,085,831	2,422,907	2,662,924
管理費	19,412,976	19,330,800	82,176
給料手当	4,483,056	5,110,410	△627,354
退職共済掛金	207,251	274,500	△67,249
福利厚生費	552,906	767,319	△214,413
会議費	78,760	92,840	△14,080

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
旅 費 交 通 費	93,478	72,718	20,760
通 信 運 搬 費	281,978	291,409	▲9,431
減 価 償 却 費	229,680	229,680	
消 耗 品 費	190,476	154,875	35,601
修 繕 費	116,140	186,210	▲70,070
印 刷 製 本 費	84,978	85,638	▲660
光 熱 水 料 費	3,500	246,674	▲243,174
賃 借 料	2,917,601	2,932,297	▲14,696
保 険 料	17,475	17,476	▲1
租 税 公 課	7,194,700	5,501,000	1,693,700
支 払 負 担 金	1,976,170	2,490,230	▲514,060
雑 費	984,827	877,524	107,303
経 常 費 用 計	135,728,564	131,268,268	4,460,296
評価損益等調整前当期経常増減額	12,903,019	694,955	12,208,064
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	12,903,019	694,955	12,208,064
経 常 外 増 減 の 部			
経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	12,903,019	694,955	12,208,064
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	
当期一般正味財産増減額	12,833,019	624,955	12,208,064
一般正味財産期首残高	40,102,906	39,477,951	624,955
一般正味財産期末残高	52,935,925	40,102,906	12,833,019
Ⅱ 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	52,935,925	40,102,906	12,833,019

貸 借 対 照 表

令和 7 年 3 月 31 日現在（決算）

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現 金 預 金	13,086,365	12,815,843	270,522
現 外 貨 現 金	72,348	25,316	47,032
普 通 預 金	809,962		809,962
未 収 会 費 金	12,204,055	12,790,527	△586,472
未 収 金	350,000	50,000	300,000
未 前 収 金	27,707,384	13,607,670	14,099,714
貯 蔵 品	612,210	3,920,260	△3,308,050
商 立 替 金		19,053	△19,053
預 け 金	858,378	919,430	△61,052
	65,023	409,758	△344,735
	2,500	2,500	
流 動 資 産 合 計	42,681,860	31,744,514	10,937,346
固 定 資 産			
基 本 財 産			
定 期 預 金	20,000,000	20,000,000	
基 本 財 産 合 計	20,000,000	20,000,000	0
そ の 他 固 定 資 産			
建 物 附 属 設 備	1,368,528	1,576,208	△207,680
什 器 備 品	1,834	23,834	△22,000
保 証 金	1,770,558	1,770,558	
長 期 前 払 費 用 金	287,980	143,156	144,824
奨 学 貸 付 金		60,000	△60,000
そ の 他 固 定 資 産 合 計	3,428,900	3,573,756	△144,856
固 定 資 産 合 計	23,428,900	23,573,756	△144,856
資 産 合 計	66,110,760	55,318,270	10,792,490
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未 払 金	7,576,651	5,462,230	2,114,421
未 前 受 金	524,200	3,596,254	△3,072,054
預 り 金	1,948,684	3,107,380	△1,158,696
未 払 消 費 税 等	3,055,300	2,979,500	75,800
未 払 法 人 税 等	70,000	70,000	
流 動 負 債 合 計	13,174,835	15,215,364	△2,040,529
負 債 合 計	13,174,835	15,215,364	△2,040,529
III 正 味 財 産 の 部			
一 般 正 味 財 産	52,935,925	40,102,906	12,833,019
正 味 財 産 合 計	52,935,925	40,102,906	12,833,019
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	66,110,760	55,318,270	10,792,490

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会
事業名：事業全体

1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年 4月11日 最終改正 令和 2年 5月15日
内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっている。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引
については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
合 計	20,000,000	0	0	20,000,000

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	2,595,159	1,226,631	1,368,528
什器備品	110,000	108,166	1,834
合 計	2,705,159	1,334,797	1,370,362

4. 重要な後発事象

(1) その他

なし

5. その他

(1) 表示方法の変更

なし

附属明細書

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会
事業名：事業全体

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000

2025年4月30日

監査報告書

一般社団法人 協力隊を育てる会
代表理事 明石 要一 殿

監事

福 龍 健一



監事

中 村 義 人



私たち監事は、第12期事業年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の事業報告、計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、個別注記表）、附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により監査方針を定め、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧、調査し、必要に応じて当法人の理事等から職務の執行状況等について報告を受け、また随時説明を求め監査を実施いたしました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類とその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

2024 年度事業報告
2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

一般社団法人協力隊を育てる会

2024-2025年度

	種別	肩書	氏名	所属
1	理 事	会長	明石 要一	千葉大学名誉教授
2	理 事	副会長	上田 みどり	広島県海外協力隊を育てる会会長
3	理 事	副会長	山根木 晴久	公益財団法人日本生産性本部執行役
4	理 事	常任理事	土井 章	元グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンCSO
5	理 事	常任理事	白鳥 くるみ	アフリカ理解プロジェクト代表
6	理 事		市川 直美	公益社団法人日本青年会議所事務局長
7	理 事		北野 眞一	日本労働組合総連合会副事務局長
8	理 事		小井土 雄一	国立健康危機管理研究機構 厚生労働省DMAT事務局長
9	理 事		澤田 澄子	公益社団法人企業メセナ協議会常務理事
10	理 事		田口 努	公益財団法人日本YMCA同盟総主事・代表理事
11	理 事		武下 悌治	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長
12	理 事		棚田 一論	日本青年団協議会事務局長
13	理 事		星野 智子	一般社団法人環境パートナーシップ会議代表理事
14	理 事		松尾 直泰	一般財団法人日本青年館総務部部長
15	理 事		結城 和香子	読売新聞東京本社編集委員
1	監 事		中村 義人	公認会計士
2	監 事		福瀧 健一	千葉県JICA協力隊を育てる会監事

顧問・参与

1	顧 問		足立 房夫	公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金顧問
2	顧 問		木寺 昌人	元フランス、中国大使
3	顧 問		黒河内 康	元タンザニア、ナイジェリア、スイス大使
4	顧 問		山本 保博	医療法人伯鳳会東京曳舟病院院長
5	顧 問		山本 信也	一般財団法人日本青年館理事
6	顧 問		水野 秀一	公益社団法人日本青年会議所事務局アドバイザー
1	参 与		伊藤 隆文	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長
2	参 与		井上 俊吾	徳島県協力隊を育てる会会長
3	参 与		大塚 正明	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長
4	参 与		大貫 康雄	公益社団法人自由報道協会代表理事
5	参 与		小川 一成	茨城県青年海外協力隊を育てる会会長、茨城県議会議員
6	参 与		小原 嘉文	佐賀県協力隊を育てる会会長
7	参 与		杉下 恒夫	一般財団法人国際開発機構理事長
8	参 与		高橋 成雄	NPO法人地球緑化センター顧問
9	参 与		谷川 与志雄	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局次長
10	参 与		吹浦 忠正	NPO法人ユーラシア21研究所理事長
11	参 与		松岡 和久	公益財団法人CIESF副理事長
12	参 与		森高 康行	愛媛県青年海外協力隊を育てる会副会長
13	参 与		森田 清隆	日本経済団体連合会国際協力本部長

2024 年度事業報告

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

【スローガン】

「協力隊は日本の宝、育てて活かす平和の種まき」

【基本方針】

1. 協力隊事業への支援を通じて、世界から信頼される日本と平和で豊かな社会を実現する人材を育成する。
2. 協力隊に参加しやすい社会環境を目指して、全国の育てる会組織の皆様と共に活動する。
3. 協力隊の活動を通じて得た隊員たちの経験が日本の地域社会の活性化に生かされるよう、帰国隊員と自治体、経済団体、市民団体等との橋渡しとなる役割を果たす。

【重点活動】

1. JICA 海外協力隊の参加促進
2. JICA 海外協力隊員の社会還元の促進
3. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化
4. 事業・活動基盤の安定化

協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

重点活動

JICA海外協力隊の 参加促進

JICA海外協力隊員の 社会還元の促進

全国育てる会と JICAとの パートナーシップ強化

事業・活動基盤の 安定化

理解促進事業

各種イベント開催

カレンダーの販売

視察の旅の
企画再開

カタログギフト、
グッズ等の販売

他団体との連携

帰国隊員の
進路支援

助成事業

小さなハート
プロジェクト

帰国隊員支援
プロジェクト

地域の育てる会
活動助成

広報事業

育てる会ニュース
の編集発行

WEB・SNSによ
る情報発信

受託事業

クロスロード
編集・発行業務

帰国時情報・事務
管理業務

浦安市国際セン
ター事業業務

総務活動

各種会議等の開催

会員管理

【重点活動】

1. 事業・活動基盤の安定化

1) 「クロスロード」編集受託業務の確実な受注

件 名 : 2024-2027 年 JICA 海外協力隊に対する情報支援ツール『クロスロード』編集・発行及び WEB 対応業務

公示日 : 6 月 3 日

開札日 : 7 月 9 日

結 果 : 当会にて落札

落札者の決定方法: 総合評価落札方式 (加算方式)

技術点 200 点、価格点 100 点

(円)

	社名／商号 (法人番号)	技術点	第 1 回		第 2 回		第 3 回	
			金額	結果	金額	結果	金額	結果
1	一般社団法人協力隊を育てる会 (1011005002153)	158.5	157,849,200	落札				
	株式会社角川アスキー総合研究所 (9010001067748)	155.33	167,000,000	-				

(消費税等額を含まない金額)

契約期間: 2024 年 7 月 22 日～2027 年 9 月 30 日 (3 年間)

契約金額: 173,634,120 円 (消費税込)

173,907,481 円 (参考: 2021 年 7 月～2024 年 9 月)

概 要 : 毎月 36 頁⇒28 頁 (8 頁減)

通常号 10 回/年⇒9 回/年

特別号 (OV 号) 1 回/年⇒1 回/年

特別号 (応募勧奨号) 1 回/年⇒2 回/年

※応募勧奨号 (8 月号) を 60 周年記念誌として発行予定

2) 「2024-2026 年度 JICA 海外協力隊帰国隊員情報事務管理・事業理解促進業務」受託業務の確実な実施

契約期間: 2024 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日 (3 年間)

契約金額: 218,816,648 円 (消費税込)

127,775,784 円 (参考: 2021 年 10 月～2024 年 4 月)

概 要 : (1) 進路検討支援業務 (応募・進路相談、社会還元に係る講義、教育訓練手当、PARTNER 帰国隊員専用ページの閲覧申請、証明書発給等)

(2) 就職支援業務 (求人对応、無料職業紹介事業、メール配信、自治体特別措置情報管理、UNV 推薦手続き等)

(3) 進学支援業務 (入学特別措置情報管理、出願勧奨、奨学金支援制度等)

- (4) 帰国隊員情報収集業務（個人情報入力、進路情報資料作成、現職教員特別参加制度参加者現況調査、JOCV マップ取りまとめ、メール配信、寄稿・出版・講演届、帰国隊員社会還元表彰式関連業務等）
- (5) 社会還元基盤整備業務（全国の相談役業務支援、新任相談役向けオリエンテーション、相談役等全体会議、関東甲信越圏の相談役配置[大石精一氏/協力隊を育てる会事務局長、矢島亮一氏/自然塾寺子屋理事長、河内毅氏/日本も元気にする青年海外協力隊 OB 会代表]、寄附相談対応等）
- (6) 事業理解促進業務
- (ア) 経済団体、業界別団体等に対するボランティア事業の理解促進業務
- 1) 経済団体・業界団体等に対する事業紹介セミナーの実施
 - 2) サポーター企業・団体等のネットワーキング促進
- ①第 16 回江戸川開成会総会
- 日時：2024 年 5 月 25 日（土）
- 場所：タワーホール船越（江戸川区船堀）
- 出席：山本顧問、大石事務局長
- ②第 2 回 JICA 海外協力隊社会還元表彰式 ネットワーキングイベント
- 日時：2024 年 6 月 7 日（金）
- 場所：JICA 本部（麹町）
- 出席：山根木副会長、白鳥理事、大石事務局長ほか育てる会職員 7 名
- ③第 34 回日本歯科保健医療国際協力学会
- 日時：2024 年 7 月 6 日（土）
- 場所：幕張国際研修センター（千葉市）
- 出席：福瀧監事、大石事務局長、藤澤職員
- ④書籍『GLOBAL INNOVATORs』発行記念セミナー
- 日時：2025 年 2 月 12 日（水）
- 場所：JICA 本部（麹町）
- 出席：明石会長、水野顧問、谷川参与、大石事務局長ほか育てる会職員 4 名
- (イ) 日本も元気にする JICA 海外協力隊リーフレット・サポーター宣言・自治体向け広報誌での記事掲載
- (ウ) JICA 海外協力隊体験プログラムコーディネーター業務
- 派遣国：ガーナ、マラウイ
- 参加者：大学・大学院生 15 名
- 派遣前訓練：2024 年 12 月 14 日（土）、15 日（日）JICA 東京
- 派遣前報告会：2025 年 2 月 5 日（水）
- 海外派遣：2 月 16 日（日）～3 月 9 日（日）
- 帰国後報告会：3 月 21 日（金）

3) 全国育てる会活動予算の確保

実 施 : 通年

概 要 : 1 組織につき上限 8 万円 (年間約 350~400 万円)

2. JICA 海外協力隊員の社会還元促進

1) 千葉県内で子どもの居場所づくりのため起業を計画している O V の相談、情報提供

日時 : 2024 年 4 月 15 日 (月)

場所 : 育てる会事務局

概要 : 全国で同様の取組をしている OV、千葉県内でご理解をいただける有力者等の情報を提供
⇒後に、(一社)子どもの未来開拓者を設立

2) 江戸川開成会で帰国隊員の活動報告会を開催

日時 : 2024 年 5 月 25 日 (土)

場所 : タワーホール船堀

概要 : 江戸川区を中心とした開成高校卒業生の会合に、シリア OV の活動報告会を開催。シリア
難民支援の理解と協力を呼びかける。

3) 帰国隊員の活動を国会議員に紹介

日時 : 2024 年 8 月 22 日 (木)

場所 : 参議院会館

概要 : 町井恵理子 OV (薬剤師、NPO 法人 AfriMedico 代表) の活動 (日本の置き薬システム
をアフリカで普及) を本田顕子参議院議員 (薬剤師、熊本) に説明。JOCV 橋事務局長、
大石事務局長同席。

4) 千葉県国際協力推進員、浦安国際センター、協力隊 OV との情報交換会の実施

日時 : 2024 年 10 月 7 日 (月)

概要 : 国際協力推進員、相談役 (関東甲信越)、育てる会、浦安国際センター (JOCA)、
千葉県で起業した O V にて情報交換、連携した支援について意見交換。

5) カタログギフト「Global Sprout」の広報と販売

カタログギフトの積極的な広報と販売促進

ブランド : 「Global Sprout (グローバル・スプラウト)」

概 要 : 帰国隊員が生産する食品・雑貨・化粧品等を掲載したカタログギフトの販売促進を通
じて、地域社会の活性化を進めている隊員の活動を支援する。

3. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化

1) 全国育てる会の総会等の積極的な参加と情報共有

(1) 協力隊を支援するやまがた地球家族の会 (令和 6 年) 総会出席

日時 : 2024 年 6 月 1 日 (土) 14 : 00~

場所 : 出羽庄内国際村 (山形県鶴岡市)

出席 : 明石会長 (オンライン)

- (2) 北海道青年海外協力隊を育てる会定期総会（2024 年度）
日時：2024 年 6 月 16 日（日） 13：30～
場所：北海道立道民活動センターかでの 2・7
出席：大石事務局長 ※森元副会長に感謝状（明石会長名）贈呈
- (3) 福島県青年海外協力隊を支援する会 令和 6 年度通常総会出席
日時：2024 年 6 月 17 日（月） 16：00～
場所：郡山ビューホテル（郡山市中町）
出席：藤村事業課長
- (4) 京都府 JICA ボランティア応援団 第 9 回（2024 年度）定期総会出席
日時：2024 年 7 月 5 日（金） 18：00～
場所：京都洋食ムッシュいとう（京都市中京区）
出席：水野顧問
- (5) 茨城県青年海外協力隊を育てる会 令和 6 年度通常総会出席
日時：2024 年 7 月 7 日（日） 10：30～
場所：JICA 筑波国際センター
出席：大石事務局長
- (6) 埼玉国際青年を育てる会 2024 年度 1 次隊 JICA 海外協力隊壮行会出席
日時：2024 年 7 月 24 日（水） 12：00～
場所：伊勢丹浦和店（クローバールーム）
出席：小路臨時職員
- (7) 協力隊を支援するやまがた地球家族の会 設立 20 周年記念式典出席
日時：2024 年 10 月 6 日（日） 14：00～
場所：出羽庄内国際村
出席：土井常任理事
- (8) 埼玉国際青年を育てる会 2024 年度 2 次隊 JICA 海外協力隊壮行会出席
日時：2024 年 11 月 19 日（火） 12：00～
場所：伊勢丹浦和店（アズーリ クラシコ）
出席：大石事務局長
- (9) 愛知県青年海外協力隊を支援する会 令和 6 年度開発教育セミナー
「ビール醸造を通じた地域おこし」出席
日時：2024 年 11 月 30 日（土） 14：00～
場所：JICA 中部なごや地球ひろば
出席：明石会長
- (10) 「福島は今」ツアー（ふくしま青年海外協力隊の会主催）
日時：2024 年 11 月 30 日（土）～12 月 1 日（日）
概要：東日本大震災後の福島の復興状況と OV の活動現場等を視察するツアー
出席：藤村事業課長

(11) NPO 法人山梨県青年海外協力隊を育てる会 設立 30 周年記念式典出席

日時：2024 年 12 月 7 日（土） 13：30～

場所：ジットセレモニー甲府（高畑）

出席：明石会長

4. JICA 海外協力隊参加の促進

1) カレンダーの制作・販売

概要：帰国隊員提供の写真を使用したオリジナルカレンダー

仕様：A4 横／フルカラー／14 枚綴り（28P）／通常版・名入れ

制作数：7,000 部

販売：6,400 部（内訳：定型 624 部、名入れ 905 部、各県 4,073 部、広報 798 部）

※2025 年 3 月 31 日時点

制作：5 月～9 月

テーマ：「かけはし」協力隊事業創設 60 周年を迎えて日本と任国の架け橋となる隊員達

販売：9 月下旬

普及：オリジナルカレンダーを通じて、青少年団体、国際協力への関心層等に対して、積極的な協力隊応募勧奨を行う。

2) 『クロスロード』の積極的な活用

概要：応募勧奨号（2 月 1 日発行号）を積極的に活用し、協力隊参加の機運を高める。

全国育てる会組織、青少年団体等を通じて関心層へ積極的に配布する。

実施：通年

【理解促進事業】

1) 協力隊活動現地視察の旅（視察の旅）の企画再開

コロナ禍のため中断していた視察の旅の企画を再開。まずはアフリカ地域で受け入れ可能な国を選び、8 カ国の企画、募集を行ったが実施には至らず。

企画

国名	旅行期間	催行
ガーナ	9月11日－9月20日	×
ボツワナ		×
ザンビア		×
ナミビア		×
マダガスカル		×
ケニア	10月1日-10月10日	×
ルワンダ	11月6日-11月15日	×
マラウイ		×

2) 国会議員への働きかけ

日 時 : 2024 年 8 月 22 日 (木)

場 所 : 参議院会館

概 要 : 町井恵理子 OV (薬剤師、NPO 法人 AfriMedico 代表) の活動 (日本の置き薬システムをアフリカで普及) を本田顕子参議院議員 (薬剤師、熊本) に説明。JOCV 橘事務局長、大石事務局長同席。

日 時 : 2024 年 10 月 4 日 (金)

場 所 : 衆議院第一・第二会館、参議院会館

概 要 : 育てる会と関係の深い国会議員 26 名の事務所を訪ね、育てる会カレンダーを配布すると共に協力隊事業の支援を依頼
(木原稔、本田顕子、中川正春議員は本人が直接対応)

日 時 : 2024 年 11 月 20 日 (水)

場 所 : 参議院会館

概 要 : 竹詰仁議員 (電力総連) にこれまでの支援のお礼。来年 2 月にセネガル訪問を控えており、協力隊員視察を要請。

日 時 : 2024 年 11 月 25 日 (月)

場 所 : 衆議院第一議員会館

概 要 : 松本尚議員 (外務大臣政務官)。医療分野で派遣された協力隊経験者の国内での活躍の場について意見交換

日 時 : 2024 年 12 月 3 日 (火)

場 所 : 衆議院第一・第二会館、参議院会館

概 要 : ①育てる会と関係の深い国会議員 24 名の事務所を訪ね、新春の集いのご案内
(逢沢一郎、本田顕子議員は本人が直接対応)

②「協力隊を育てる会ニュース」への寄稿依頼

2025 年 3 月号⇒竹詰仁参議院議員

2025 年 4 月号⇒国光あやの衆議院議員

3) イベント等の開催

(1) 第 49 回通常総会・講演会の開催

演 題 : 「凧あげが結ぶガザと釜石の絆」

日 時 : 2024 年 5 月 30 日 (木) 16:00~17:30

場 所 : 連合会館

主 催 : 一般社団法人協力隊を育てる会

後 援 : 独立行政法人国際協力機構

登壇者 : 佐藤直美氏 (JICA 東北国内協力員)

出席数 : 会場 約 70 名

(2) 2025 年「新春の集い」の開催

演 題 : 世界と日本の「かけはし」となる JICA 海外協力隊員
日 時 : 2025 年 1 月 10 日 (金) 15 : 00～
場 所 : JICA 市ヶ谷ビル (国際会議場)
主 催 : 一般社団法人協力隊を育てる会
後 援 : 独立行政法人国際協力機構
概 要 : 帰国後も任国との架け橋となっている帰国隊員の活動を紹介
坂本毅氏 (中国 OB) 『オールドスの地に緑を取り戻す』
白石光代氏 (グアテマラ OG) 『「学びたい」、その願いをかたちに』
参加者 約 80 名
講演会アーカイブ <https://youtu.be/IPZ8LOTYWaU>

4) 協力隊関連書籍及びグッズの販売

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業への理解を深めるため、下記の書籍、グッズを販売する。

(1) 「JICA海外協力隊から社会起業家へ 共感で社会を変える GLOCAL INNOVATORS」の販売

実 施 : 2024 年 9 月 15 日発行
10 月 1 日発行 (電子書籍)
対 象 : 隊員参加希望者、隊員家族、帰国隊員の採用に関心をもつ企業・団体・自治体
概 要 : JICA より業務委託を受け、当会にて編集、(株)文芸社より発行
400 冊については当会にて直接販売

(2) 協力隊 T シャツ、JOCV バッジの販売

実 施 : 通年
概 要 : 隊員参加希望者、派遣予定者、帰国隊員、隊員家族等

5) 他団体との連携

協力隊事業と育てる会活動の理解促進を目的に、社会情勢に合わせながら他団体の実施する各種イベント、会合等に参加し、JICA 海外協力隊事業の広報や連携した帰国隊員の支援等について協議する。

(1) 協力隊まつり 2024

主 催 : 協力隊まつり実行委員会
実 施 : 2024 年 4 月 20 日 (土)
場 所 : JICA 市ヶ谷ビル
概 要 : 育てる会活動と各県活動の理解促進のため、活動紹介の展示、グッズ販売等

(2) サバ (マレーシア) OB 会

主 催 : サバ (マレーシア) 会
実 施 : 2024 年 6 月 1 日 (土)

場 所 : 私学会館（市ヶ谷）

概 要 : サバ派遣の昭和 45 年度 3 次隊員 9 名が 50 年ぶりに集まり近況報告。大石事務局長より現在の協力隊事業、JICA 海外協力隊応援基金等について説明。

(3) 自動車総連

日 時 : 2024 年 7 月 2 日（火）

場 所 : 自動車総連（高輪）

概 要 : 大石事務局長より自動車整備隊員の派遣状況等について説明。団体会員の継続支援を要請。

(4) 日産労連

日 時 : 2024 年 7 月 2 日（火）

場 所 : ゆうらいふセンター（浜松町）

概 要 : 藤村事業課長、石濱職員が組合主催のイベントに参加。派遣状況等情報交換。

日 時 : 2024 年 7 月 4 日（木）

場 所 : 日産労連（浜松町）

概 要 : 大石事務局長より自動車整備隊員の派遣状況等について説明。団体会員の継続支援を要請。

(5) 外務省退官 OB 会

日 時 : 2024 年 8 月 2 日（金）、9 月 6 日（金）

場 所 : 椿山荘（御茶ノ水）

概 要 : 外務省退官 OB 約 10 名が現状報告。大石事務局長より協力隊事業の現況、JICA 海外協力隊応援基金等について説明。

(6) 東京都教育庁

日 時 : 2024 年 9 月 12 日（木）

場 所 : 育てる会事務局

概 要 : 大嶋尚史氏（学校開放事業調整担当）より放課後の校舎の有効活用について、協力隊 OV との連携について意見交換。

(7) グローバルフェスタ 2024

主 催 : グローバルフェスタ実行委員会

実 施 : 2024 年 9 月 28 日(土)・29 日(日)

場 所 : 【屋内会場】新宿住友ビル三角広場

【屋外会場】新宿中央公園 ファンモアタイムひろば（水の広場）

概 要 : 育てる会の事業紹介、カレンダー、書籍等の販売

(8) 日本ユースリーダー協会

日 時 : 2024 年 10 月 30 日（水）

場 所 : 日本ユースリーダー協会事務局

概 要 : 大石事務局長が訪問、長事務局長他職員と意見交換、今後の連携等について。

(9) (一社) 事業承継結婚推進機構

日 時 : 2024 年 11 月 11 日 (月)

場 所 : JICA 竹橋

概 要 : (一社) 事業承継結婚推進機構村田弘子代表理事、あいわ税理士法人、JOCV 橋事務局長、和田次長、大石局長、藤澤職員にて、協力隊 OV の婚活事業継承について概要説明、意見交換。

(10) (株) 農協観光 (地域共創事業部)

日 時 : 2025 年 2 月 14 日 (金)

場 所 : 育てる会事務局

概 要 : 農業に関心をもつ OV への情報提供について連携打診、意見交換。

(11) アフリカ救援節食ディナー

主 催 : 足利市ボランティア協会、社会福祉法人足利市社会福祉協議会

実 施 : 2025 年 3 月 1 日 (土)

場 所 : 足利市民プラザ小ホール

概 要 : 藤村事業課長が出席。小さなハートプロジェクト 2024 年度活動報告。

6) 帰国隊員の進路支援

就職や転職、進学等、帰国隊員の様々なニーズに対して、彼らの経験や持ち味が活かせる人生プランをアドバイスするとともに進路開拓の支援を行う。

(1) 進路相談の実施

実 施 : 通年

概 要 : 就職や転職、進学等へのアドバイス

【助成事業】

1) 小さなハートプロジェクト

国内からの一般寄付を基に、協力隊員が本来業務以外に企画実施する草の根プロジェクトを支援する。

支援金額 : 1 件につき上限 US\$3,000

支援件数 : 5 件

募集期間 : 通年

審 査 : 審査員により随時実施

	受給者名	隊次/派遣国/職種	プロジェクト名称	実施状況
1	賣野 由紀子	2022-3 セネガル 看護師	セネガルの女性たちの自立を目指して！ミシンを使った就労支援プロジェクト	2024.10 完了

2	界田 亮介	2022-2 ガーナ PC インストラクター	生徒の生活と学習環境の質向上に向けたファシリティ改善プロジェクト	2024.12 完了
3	総谷 明帆	2023-3 タンザニア コミュニティ開発	床から机へ、タンザニアの小学生の学びを変える教育支援	2025.2 完了
4	原賀 祥乃	2023-1 マダガスカル 体育	トイレのある生活をみんなに。市民の健康促進プロジェクト	2025.3 完了
5	小山 直貴	2023-2 セネガル 体育	農業人材の育成および宗教学生（タリベ）の雇用機会向上	2025.3 実施中

2) 帰国隊員支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援する。

支援金額：1 件につき上限 500,000 円

支援総額：3,146,000 円

募集期間：7 月 1 日（月）～8 月 31 日（土）

応募件数：28 件

審査選考：10 月 10 日（木）選考委員会にて実施

採択件数：7 件（協力活動 4 件、調査・研究 3 件）

<協力活動>

	受給者名	派遣国/職種 /隊次	プロジェクト名称	活動地域
1	薬師川 智子	ケニア マーケティング 2013-3	ケニア農村部での、アボカド品種改良と、アボカドのサプライチェーンに関する調査	ケニア
2	平野 耕志	ザンビア 村落開発普及員 2011-4	ザンビア農家と人々の健康を救うプロジェクト	ザンビア
3	石塚 貴章	ラオス コミュニティ開発 2015-3	ラオス特産品（昆虫食品・ラオス焼酎）の競争力向上に向けた市場分析とマーケティング戦略策定	ラオス

4	吉澤 容子 (旧姓 若松)	ザンビア 家政・生活改善 2015-2	ザンビア共和国ルサカ州ルフンサ群における、 養蜂技術の普及を通じた収入源創出プロジェ クト	ザンビア
---	------------------	---------------------------	---	------

<調査・研究>

	受給者名	派遣国/職種 /隊次	プロジェクト名称	活動地域
5	田中 翔	ルワンダ コミュニティ開発 2021-7	ルワンダのコーヒー農家および農業組合への品 質向上支援に関する調査	ルワンダ
6	河原 柚香	バヌアツ 看護師 2018-4	バヌアツの都市部と農村部に暮らす成人の生活 習慣病に関する横断的研究 －ライフスタイルや健康観念に関連した文化 的・生物学的要因の比較検討－	バヌアツ
7	山本 美紀	マラウイ 林業・森林保全 2014-2	生態系を活用した防災はマラウイを救うの か?：森林被覆変化と洪水リスクの関連性評価 研究	マラウイ

※上記 7 件とは別に、公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の希望により、特別プロジェクトとして、
UNRWA 職員でガザの支援活動を行っている吉田美紀 OV（セネガル・2009-2・村落開発普及員）の個
人的な活動支援金として 50 万円を送金。

3) 馬場医療・福祉奨学金

医療・福祉分野への就職を希望する帰国隊員を対象に上限 50 万円の貸付（無利子）を行い、就
職後に本人の返済計画に従って返金する。

2024 年 6 月をもって最後の受給者の返金が終了したため、すべての事業を終了。

4) 全国育てる会活動助成

全国育てる会が実施する協力隊事業の理解促進等の諸活動に対し、助成金を給付する。

支援金額：状況に応じて決定

給付時期：状況に応じて決定

対象事業：以下の 4 事業

- ①会員拡大
- ②協力隊に参加し易く、またその経験を地域に活かす社会環境の整備
- ③広報・理解促進
- ④全国育てる会組織との連携

【広報事業】

1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、育てる会活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介する。

発行数 : 約 4,000 部／毎月（赴任中の協力隊員には PDF 配信）

仕 様 : モノクロ／タブロイド版／4 ページ

構 成 : 1 面～最新トピックス、有識者による時評

2 面～全国育てる会や地域の支援者の活動紹介

3 面～派遣中隊員、帰国隊員の活動紹介

4 面～各種インフォメーション、ご芳名掲載

広 告 : JICA、大学等から広告掲載を得て製作費に充当

2) Web や SNS による情報提供

一般から隊員家族、派遣中隊員、帰国隊員まで、協力隊事業ならびに育てる会活動を広く周知するため、Web や SNS を活用した広報を更に充実させるとともに以下の情報等を発信する。

- (1) 全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報（告知及び報告等）の提供
- (2) 帰国隊員が関わる事業や商品情報の提供
- (3) 各種支援情報の提供

3) メーリングリストによる情報提供

派遣中や帰国後隊員に育てる会活動を広く周知しネットワークを構築するため、以下の情報等を発信する。

- (1) カレンダー写真の募集
- (2) 帰国報告会等講師の募集
- (3) 各種支援事業の告知
- (4) 就職・進学情報の告知
- (5) 各県組織からの情報提供
- (6) 会員団体からの情報提供

4) 協力隊資料の収集と保存（アーカイブ事業）

1965 年の事業創設から半世紀以上を経て、協力隊の貴重な資料が散逸しつつあるため、積極的に当会にて収集、保存し、その価値を広く発信していく。

協力隊設立 60 周年（2025 年）を控え、収集した資料の整理を進める。

【受託事業】

1) 2024-2027 年 JICA 海外協力隊に対する情報支援ツール『クロスロード』編集・発行及び WEB 対応業務

協力隊員が現地で活動・生活するうえで参考になり、かつボランティア及び事業関係者間で共有価値のある実践的情報を提供するとともに、帰国後に関する有益な情報提供を通じてボランティアの帰国後の進路開拓を促進し、その経験を社会への還元に結びつけるべく、業務を遂行する。

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

担当課 : 青年海外協力隊事務局参加促進課

業務内容 : JICA 海外協力隊実践ガイド (年 9 号)、OBOG 向け (年 1 号)、応募者向けガイド (年 2 号) の企画、取材、原稿執筆、編集、発行

契約期間 : 2024 年 7 月 22 日～2027 年 9 月 30 日 (3 年間)

専従職員 : 2 名

2) 2024-2026 年度 JICA 海外協力隊帰国隊員情報事務管理・事業理解促進業務

帰国隊員の進路開拓と帰国後の社会還元を促進させ、企業団体に対し JICA 海外協力隊事業の理解促進を図り、協力隊事業の社会的評価の向上に繋げるべく業務を確実に遂行し、安定的な財政基盤を構築する。

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

担当課 : 青年海外協力隊事務局社会還元促進課

業務内容 : 各種データ管理、事務手続き、進学・就職支援業務、理解促進事業他

契約期間 : 2024 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日

専従職員 : 13 名 (業務委託含む)

3) 浦安市国際センター事業

上記センターの指定管理業務を共同企業体と実施する。

委託元 : 浦安市

共同企業 : 公益社団法人青年海外協力協会

業務内容 : 国際センターの運営補佐 (多文化共生講座、日本語学習支援教室運営等)

契約期間 : 2022 年 4 月より 4 年間

専従職員 : 1 名

4) 「JICA海外協力隊から社会起業家へ 共感で社会を変える GLOCAL INNOVATORS」の制作

実 施 : 7 月 31 日 JICA 納品 (1,000 部)

概 要 : JICA より業務委託を受け、当会にて編集、(株)文芸社より発行

【総務活動】

1) 各種会議の運営

一般社団法人としての的確な組織運営ならびに事業活動の推進を目的として、役員会等の各種会議を開催する。

(1) 第 49 回通常総会

開催日 : 2024 年 5 月 30 日 (木) 13 : 30~15 : 30

場 所 : 連合会館

【プログラム】

第 1 部 通常総会 (13 : 30~15 : 30)

第 2 部 講演会「風あげが繋ぐ釜石とガザの絆」 (16 : 00~17 : 30)

第 3 部 交流会 (18 : 30~20 : 00)

(2) 理事会

第 1 回 日時 : 2024 年 5 月 10 日 (金) 15 : 00~17 : 00

場所 : 連合会館 (402 会議室)

内容 : 2023 年度事業報告、決算報告

第 2 回 日時 : 2024 年 5 月 30 日 (金) 14 : 30~15 : 00

場所 : 連合会館 (401 会議室)

内容 : 会長、副会長、常任理事の選任。顧問・参与の委嘱

第 3 回 日時 : 2024 年 12 月 19 日 (木) 15 : 00~17 : 00

場所 : 連合会館 (502 会議室)

内容 : 基本財産の流用について、2024 年度事業報告

第 4 回 日時 : 2025 年 3 月 11 日 (火) 15 : 00~17 : 00

場所 : 連合会館 (402 会議室)

内容 : 2025 年度事業計画、収支予算

(3) 常任理事会

第 1 回 日時 : 2024 年 6 月 27 日 (木) 15 : 00~17 : 00

場所 : 育てる会事務局

内容 : JICA 地球ひろばの受託業務について

第 2 回 日時 : 2024 年 10 月 10 日 (木) 11 : 00~11 : 30

場所 : 育てる会事務局

内容 : 事業報告

第 3 回 日時 : 2025 年 3 月 6 日 (木) 15 : 00~17 : 00

場所 : 育てる会事務局

内容 : 事業計画

(4) 顧問・参与会議

日時 : 2024 年 12 月 19 日 (木)

場所 : 連合会館 (502 会議室)

2) 各種交流会の開催

(1) 「新春の集い」

日 時 : 2025 年 1 月 10 日 (金)

場 所 : JICA 市ヶ谷ビル (国際会議場)

概 要 : 世界と日本の「かけはし」となる JICA 海外協力隊員

坂本毅氏 (中国 OB) 『オルドスの地に緑を取り戻す』

白石光代氏 (グアテマラ OG) 『「学びたい」、その願いをかたちに』

参加者約 80 名 終了後、J's Café にて交歓会 (参加者約 80 名)

(2) その他、各種表彰・叙勲等のお祝い会

開 催 : 随時

場 所 : 都内

3) 派遣隊員へのガイダンス

実 施 : 2024 年 4 月 26 日 (2024 年度 1 次隊) 藤澤職員、飯渕編集長、阿部職員

2024 年 9 月 4 日 (2024 年度 2 次隊) 藤村事業課長、飯渕編集長、阿部職員

2025 年 1 月 16 日 (2024 年度 3 次隊) 峰元職員、飯渕編集長、阿部職員

場 所 : オンライン (駒ヶ根・二本松訓練所同時中継)

概 要 : 育てる会活動の説明、ならびに情報提供を依頼

同情報より、留守家族向け入会案内発送 (受託県分含む)

4) 青年海外協力隊設立 60 周年に向けての広報協力

(1) 60 周年記念式典 : 2025 年 11 月 13 日 (予定)

(2) クラウドファンディングプロジェクト

概 要 : 草創期を支えた隊員と関係者のインタビュー映像の制作

5) 一般社団法人協力隊を育てる会設立 50 周年へ向けた準備

50 年の活動記録等のとりまとめ

6) 会員現況

(1) 新規入会

① 日本労働組合総連合会 (連合)

入 会 : 10 月 9 日 (水)

業 種 : 団体

口 数 : 団体 1 口

② 公益財団法人日本生産性本部

入 会 : 12 月 20 日

業 種 : 団体

口 数 : 団体 1 口

③株式会社 ビィ・フォアード

入 会 : 3 月 17 日

業 種 : 法人

口 数 : 法人 1 口

会員種別		会員数
社団法人 協力隊を育てる会	個人	202 (入会数 20)
	団体	90 (入会数 2)
	法人	20 (入会数 1)
	計	312 会員
全国育てる会	個人／団体／法人	1,944 会員
合 計		2,256 会員

7) 表彰等

春の叙勲・褒章

藍綬褒章：乾昌弘（奈良 JICA ボランティア応援団会長）

旭日双光章：平櫻保（石川県青年海外協力隊を支援する会会長）

旭日小綬章：小正芳史（鹿児島県青年海外協力隊を支援する会理事）

秋の叙勲・褒章

旭日双光章：鶴山庄市（石川県青年海外協力隊を支援する会会長）

旭日小綬章：又賀航一（島根県青年海外協力隊を育てる会副会長）

8) 訃報等

(1) 五百旗頭真さんを送る会

日時：7 月 11 日（木）

場所：KKR ホテル

備考：大石事務局長が出席

(2) 末森満さんを偲ぶ会

日時：7 月 21 日（土）

場所：JICA 市ヶ谷（国際会議場）

備考：大石事務局長が出席

(3) 江畑義徳（元育てる会事務局長）

逝去：9 月 4 日（水） 77 歳

(4) JICA 慰霊式

日時：11 月 7 日（木）

場所：JICA 市ヶ谷

備考：明石会長、大石事務局長が出席

JICA 主催の慰霊式に先立ち、個別に広尾慰霊碑参拝。相磯剛様（元青遺海の会会長の長男、久様（〃三男）も同席。

(5) 青木盛久（元育てる会副会長）

逝去：11月9日（土） 85歳

(6) 故川島隊員、川島知司様の墓碑参拝

日時：11月24日（日）

場所：総武霊園（千葉県市川市）

備考：タンザニアバス事故で亡くなった故川島隊員の命日（1985年11月21日）にあわせて、毎年関係者が墓碑参拝を行う。大石事務局長が出席。

(7) 高木剛さん お別れの会

日時：2025年1月21日（火）

場所：帝国ホテル（孔雀の間）

備考：大石事務局長が出席

(8) 羽賀友信（にいがた青年海外協力隊を育てる会会長）

逝去：2025年2月3日（月） 74歳

(9) 小松崎弘尤（茨城県青年海外協力隊を育てる会事務局長）

逝去：2025年2月21日（金） 85歳

備考：大石事務局長が通夜（2月24日）に出席

9) 遺贈寄附

故・寺田馨様の奥様・寺田光子様の遺言によるご寄付の申出（2025年1月10日付）

10) 人事

各県組織

岩手県

会長 佐藤 幸夫⇒臼沢宏幸（HIRO グローバルホールディングス代表取締役）

栃木県

会長 岸本卓也⇒若菜英晴（下野新聞社代表取締役社長）

富山県

会長 才田春夫⇒内山弘幸（ザンビア、ウガンダ OV）

兵庫県（JICA 海外ボランティアひょうご応援団）

会長 早金孝⇒城友美子（（公財）兵庫県国際交流協会理事長）

事務局長 杉山尚武⇒長野公一（〃 事業推進部長）

宮城県

会長 富樫千之⇒星英次（JOCA 東北マネージャー）

事務局長 星英次⇒郷古雅春（宮城大学 教授）

石川県

会長 平櫻保⇒鶴山庄市（一般社団法人石川県建設業協会 会長）

香川県

会長 渡邊智樹⇒綾田裕次郎（株式会社百十四銀行 取締役会長）

事務局長 三村嘉彦⇒小田修三

鳥取県

事務局長 松本友恵⇒横川陽子

（一社）協力隊を育てる会

採用

峰元貴久（2024 年 5 月 1 日、JICA 竹橋、嘱託職員）

仙田哉子（2025 年 2 月 7 日、臨時職員）

退職

干川美奈子（2024 年 7 月 31 日、クロスロード編集室、嘱託職員）

以上

【2024 年度事業報告附属明細書について】

2024 年度事業報告における、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項」に規定する附属明細書「事業内容を補足する重要な事項」については、前述の事業報告内に含まれているため別途作成はいたしません。

2025 年度事業計画
2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

2025 年度事業計画

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

【スローガン】

「協力隊は日本の宝、育てて活かす平和の種まき」

【基本方針】

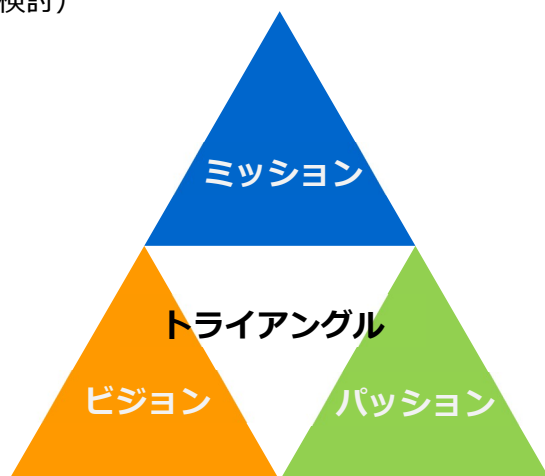
1. 協力隊事業への支援を通じて、世界から信頼される日本と平和で豊かな社会を実現する人材を育成する。
2. 協力隊に参加しやすい社会環境を目指して、全国の育てる会組織の皆様と共に活動する。
3. 協力隊の活動を通じて得た隊員たちの経験が日本の地域社会の活性化に生かされるよう、帰国隊員と自治体、経済団体、市民団体等との橋渡しとなる役割を果たす。

【重点活動】

1. JICA 海外協力隊の参加促進
2. JICA 海外協力隊員の社会還元の促進
3. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化
4. 事業・活動基盤の安定化

【重点行動】

- ビジョン① 帰国隊員の社会還元、社会貢献活動の支援
- ビジョン② JICA 海外協力隊事業の知名度向上
- ビジョン③ 帰国隊員、全国育てる会関係者による地方議員連盟の結成
- ビジョン④ 財政の安定化（受託事業外の新事業の検討）



協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

重点活動

JICA海外協力隊の 参加促進

理解促進事業

各種イベント開催

カレンダーの販売

視察の旅の
相談受付

カタログギフト、
グッズ等の販売

他団体との連携

帰国隊員の
進路支援

JICA海外協力隊員の 社会還元の促進

助成事業

小さなハート
プロジェクト

帰国隊員支援
プロジェクト

地域の育てる会
活動助成

全国育てる会と JICAとの パートナーシップ強化

広報事業

育てる会ニュース
の編集発行

WEB・SNSによ
る情報発信

事業・活動基盤の 安定化

受託事業

クロスロード
編集・発行業務

帰国時情報・事務
管理業務

浦安市国際セン
ター事業業務

総務活動

各種会議等の開催

会員管理

【重点事業】

1. 事業・活動基盤の安定化

1) 安定的な実施体制の構築と業務の質向上

「独自 pay」「ふるまち pay」等、競争入札に頼らない安定的な収入確保の方策を検討する

2) 全国育てる会活動予算の確保

実 施 : 通年

概 要 : 活動予算の確保検討及び交渉

2. JICA 海外協力隊員の社会還元促進

1) JOCV60 周年記念「異文化をつなぐ未来」のイベント開催

(株)国際協力データサービスと共同し、イベントを通じて OV の持つ知見を共有し、協力隊事業の価値を広く発信する

3. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化

1) 全国育てる会の総会等の積極的な参加と情報共有

実 施 : 通年

2) 応募勧奨や社会還元促進、人財バンク機能の推進協力

実 施 : 通年

3) 協力隊活動ならびに社会還元活動の事例収集と広報協力

実 施 : 通年

4) 全国育てる会代表者会議の開催

実 施 : JICA 海外協力隊発足 60 周年記念式典の開催と合わせて、開催を検討する

4. JICA 海外協力隊参加の促進

1) カレンダーの制作・販売

概 要 : 帰国隊員提供の写真を使用したオリジナルカレンダー

仕 様 : A4 横／フルカラー／14 枚綴り (28P) ／オリジナル名入れ・メッセージ印字

制作数 : 7,000 部 ※予定

制 作 : 5 月～8 月

販 売 : 9 月中旬 ※予定

普 及 : オリジナルカレンダーを通じて、青少年団体、国際協力への関心層等に対して、積極的な協力隊応募勧奨を行う。

2) 『クロスロード』の積極的な活用

概 要 : 応募勸奨号(2月1日発行号)を積極的に活用し、協力隊参加の機運を高める。

全国育てる会組織、青少年団体等を通じて関心層へ積極的に配布する。

実 施 : 通年

【理解促進事業】

1) 企業、団体、地方議員等のネットワーキングイベントの実施

実 施 : 通年

2) イベント等の開催

(1) 第50回通常総会・講演会の開催

演 題 : 協力隊×教育「教育の原点とこれからを考える」

日 時 : 2025年5月29日(木) 14:00～

場 所 : 連合会館

主 催 : 一般社団法人協力隊を育てる会

(2) 「新春の集い」

日 時 : 2026年1月

場 所 : 都内

3) 協力隊関連書籍及びグッズの販売

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業への理解を深めるため、下記の書籍、グッズを販売する。

(1) 「JICA海外協力隊から社会起業家へ 共感で社会を変えるGLOBAL INNOVATORS」の販売

実 施 : 2024年9月1日発行

対 象 : 隊員参加希望者、隊員家族、帰国隊員の採用に関心をもつ企業・団体・自治体

(2) 協力隊Tシャツ、JOCVバッジの販売

実 施 : 通年

概 要 : 隊員参加希望者、派遣予定者、帰国隊員、隊員家族等

4) 他団体との連携

協力隊事業と育てる会活動の理解促進を目的に、社会情勢に合わせながら他団体の実施する各種イベント名地に参加し、JICA海外協力隊事業の広報や帰国隊員が生産する雑貨等の販売を行う。

(1) 協力隊まつり2025

主 催 : 協力隊まつり実行委員会

実 施 : 4月19日(土)・20日(日)

場 所 : JICA市ヶ谷

(2) グローバルフェスタ 2025

主 催 : グローバルフェスタ実行委員会

実 施 : 9 月末～10 月初旬

場 所 : 未定

(3) アフリカ救援節食ディナー

主 催 : 足利市ボランティア協会、社会福祉法人足利市社会福祉協議会

実 施 : 2026 年 2～3 月

場 所 : 足利市民プラザ

5) 帰国隊員の進路支援

就職や転職、進学等、帰国隊員の様々なニーズに対して、彼らの経験や持ち味が活かせる人生プランをアドバイスするとともに進路開拓の支援を行う。

(1) 進路相談の実施

実 施 : 通年

概 要 : 就職や転職、進学等へのアドバイス

【助成事業】

1) 小さなハートプロジェクト

国内からの一般寄付を基に、協力隊員が本来業務以外に企画実施する草の根プロジェクトを支援する。

支援金額 : 1 件につき上限 US\$3,000

支援件数 : 未定

募集期間 : 通年

審 査 : 審査員により随時実施

2) 帰国隊員支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援する。

支援金額 : 1 件につき上限 500,000 円

支援総額 : 2,700,000 円

募集期間 : 7 月 1 日 (火) ～8 月 31 日 (日)

審査選考 : 選考委員会にて 10 月頃実施

3) 全国育てる会活動助成

全国育てる会が実施する協力隊事業の理解促進等の諸活動に対し、助成金を給付する。

支援金額 : 上限 80,000 円まで

給付時期 : 4 月 3 週目頃

対象事業：以下の４事業

- ①会員拡大
- ②協力隊に参加し易く、またその経験を地域に活かす社会環境の整備
- ③広報・理解促進
- ④全国育てる会組織との連携

【広報事業】

1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、育てる会活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介する。

発行数　：約 4,000 部／毎月（赴任中の協力隊員には PDF 配信）

仕　様　：モノクロ／タブロイド版／4 ページ

構　成　：1 面～最新トピックス、有識者による時評
2 面～全国育てる会や地域の支援者の活動紹介
3 面～派遣中隊員、帰国隊員の活動紹介
4 面～各種インフォメーション、ご芳名掲載

2) WEB や SNS による情報提供

一般から隊員家族、派遣中隊員、帰国隊員まで、協力隊事業ならびに育てる会活動を広く周知するため、WEB や SNS を活用した広報を更に充実させるとともに以下の情報等を発信する。

- (1) 全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報（告知及び報告等）の提供
- (2) 帰国隊員が関わる事業や商品情報の提供
- (3) 各種支援情報の提供

3) メーリングリストによる情報提供

派遣中や帰国後隊員に育てる会活動を広く周知しネットワークを構築するため、以下の情報等を発信する。

- (1) カレンダー写真の募集
- (2) 帰国報告会等講師の募集
- (3) 各種支援事業の告知
- (4) 就職・進学情報の告知
- (5) 各県組織からの情報提供
- (6) 会員団体からの情報提供

4) 協力隊資料の収集と保存（アーカイブ事業）

1965年の事業創設から半世紀以上を経て、協力隊の貴重な資料が散逸しつつあるため、積極的に当会にて収集、保存し、その価値を広く発信していく。

協力隊設立 60 周年（2025 年）を控え、収集した資料の整理を進める。

（1）青年海外協力隊 60 周年記念 クラウドファンディングプロジェクト

実 施：2025 年 3 月～9 月

概 要：初代隊員たち、またその関係者へのインタビュー動画の制作

【受託事業】

1）2024-2026 年 JICA 海外協力隊の情報誌「クロスロード」作成業務

協力隊員が現地で活動・生活するうえで参考になり、かつボランティア及び事業関係者間で共有価値のある実践的情報を提供するとともに、帰国後に関する有益な情報提供を通じてボランティアの帰国後の進路開拓を促進し、その経験を社会への還元に結びつけるべく、業務を遂行する。

委託元：独立行政法人国際協力機構

担当課：青年海外協力隊事務局参加促進課

業務内容：JICA 海外協力隊実践ガイド（年 9 号）、OBOG 向け（年 1 号）、応募者向けガイド（年 2 号、うち 1 号は 60 周年記念誌として発行）の企画、取材、原稿執筆、編集、発行

契約期間：2024 年 10 月 1 日～2027 年 9 月 30 日（月）

専従職員：3 名

2）2024-2026 年度 JICA 海外協力隊帰国隊員情報事務管理・事業理解促進業務

帰国隊員の進路開拓と帰国後の社会還元を促進させ、企業団体に対し JICA 海外協力隊事業の理解促進を図り、協力隊事業の社会的評価の向上に繋げるべく業務を確実に遂行し、安定的な財政基盤を構築する。

委託元：独立行政法人国際協力機構

担当課：青年海外協力隊事務局人材育成課

業務内容：各種データ管理、事務手続き、進学・就職支援業務、理解促進事業他

契約期間：2024 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日

専従職員：10 名

3）浦安市国際センター事業

上記センターの指定管理業務を共同企業体と実施する。

委託元：浦安市

共同企業：公益社団法人青年海外協力協会

業務内容：国際センターの運営補佐（多文化共生講座、日本語学習支援教室運営等）

契約期間：2022 年 4 月より 4 年間

専従職員：1 名

【総務活動】

1) 各種会議の運営

一般社団法人としての的確な組織運営ならびに事業活動の推進を目的として、役員会等の各種会議を開催する。

(1) 第 50 回通常総会

開催日 : 5 月 29 日 (木) 14 : 00～

場 所 : 連合会館

【プログラム】

第 1 部 通常総会 (14 : 00～15 : 30)

第 2 部 講演会 (16 : 00～17 : 30)

第 3 部 交流会 (18 : 30～20 : 00)

(2) 理事会

年 3 回の開催 (5 月、12 月、2026 年 3 月)

(3) 常任理事会

適宜開催

(4) 顧問・参与会議

原則として年 1～2 回程度開催

2) 各種交流会の開催

(1) 「新春の集い」

日 時 : 2026 年 1 月

場 所 : 都内

(2) その他、各種表彰・叙勲等のお祝い会

開 催 : 随時

場 所 : 都内

3) 派遣隊員へのガイダンス

実 施 : 随時

場 所 : オンライン

概 要 : 育てる会活動の説明ならびに個人情報の収集

4) 帰国隊員へのオリエンテーション

時 期 : 年間 2 回程度

場 所 : オンデマンド

概 要 : 育てる会活動の説明ならびにメールアドレス等の収集

5) 青年海外協力隊設立 60 周年に向けての広報協力

60 周年記念式典：2025 年 11 月 13 日（木） 15：00～17：30（予定）

6) 一般社団法人協力隊を育てる会設立 50 周年へ向けた準備

50 年の活動記録等のとりまとめ

以上

2025年度収支予算
2025年4月1日から2026年3月31日(決算)まで

(単位:円)

科 目	2024予算 (A)	2025予算 (B)	(B)-(A)	備考
事業活動収入				
基本財産運用収入	1,000	10,000	9,000	定期預金
入会金収入	70,000	30,000	△ 40,000	個人、法人、団体
会費収入	4,000,000	3,500,000	△ 500,000	個人、法人、団体
研修会費収入	410,000	830,000	420,000	総会交流会、新春の集い
広告料収入	3,000,000	2,500,000	△ 500,000	育てる会ニュース
手数料収入	3,600,000	3,628,000	28,000	各県クロス発送手数料他
カレンダー販売収入	4,000,000	3,500,000	△ 500,000	6千部
帰国隊員等支援受託収入	72,938,000	58,000,000	△ 14,938,000	
クロス編集業務等受託収入	57,188,000	55,170,000	△ 2,018,000	年12冊
その他受託収入	4,708,000	4,667,000	△ 41,000	浦安指定管理
助成金収入	3,000,000	3,000,000	0	三菱UFJ国際財団
寄付金収入	950,000	2,600,000	1,650,000	ハート、一般寄付
グローバルスプラウト	100,000	89,000	△ 11,000	
雑収入	0	7,000	7,000	
経常収益合計	153,965,000	137,531,000	△ 16,434,000	
事業活動支出				
給与手当	51,901,000	49,862,000	△ 2,039,000	
退職掛金	900,000	925,000	25,000	正職員3名
福利厚生費	7,485,000	7,170,000	△ 315,000	
旅費交通費	19,220,000	9,031,000	△ 10,189,000	体験プログラム渡航費
通信運搬費	6,014,000	6,091,000	77,000	クロス発送、ギガポット、Zoom
会議費	200,000	400,000	200,000	
修繕費	950,000	1,250,000	300,000	コピーカウト、PCメンテナンス、ネットワーク保守
印刷製本費	12,631,000	8,690,000	△ 3,941,000	クロス、カレンダー、ニュース
賃借料	5,569,000	5,255,000	△ 314,000	家賃、OA機器リース、書類保管
光熱水費	510,000	500,000	△ 10,000	電気、水道
保険料	60,000	280,000	220,000	ガーナ、マラウイ、火災保険、団体福祉
諸謝金	4,330,000	3,496,000	△ 834,000	ガーナ、マラウイ、クロス他
消耗品費	300,000	200,000	△ 100,000	
租税公課	6,525,000	5,500,000	△ 1,025,000	消費税、人材紹介登録、登記
減価償却費	188,000	188,000	0	建物付属施設
仕入高	300,000	0	△ 300,000	
支払負担金	2,035,000	2,449,000	414,000	社労士、税理士、会費
支払助成金	6,910,000	8,350,000	1,440,000	三菱、各県助成、ハート
委託費	22,838,000	21,113,000	△ 1,725,000	ライター、カウンセラー
雑費	3,599,000	5,281,000	1,682,000	総会交流会、新春の集い
予備費	1,500,000	1,500,000	0	
経常費用合計	153,965,000	137,531,000	△ 16,434,000	
事業活動収支差額	0	0	0	

